

令和3年度当初予算 7つのテーマ

1. デジタル化の推進
2. 脱炭素社会の実現
3. 長崎開港450周年
4. 平和の発信と
世界への貢献
5. 次の時代の基盤づくり
6. 個性を活かした
交流の拡大

7. 暮らしやすく、 活力あふれるまちづくり

- ・子育てしやすいまち
- ・快適な住環境が整ったまち
- ・新しい仕事に挑戦できるまち
- ・芸術文化・スポーツを
楽しめるまち
- ・安全・安心で
快適に暮らせるまち
- ・ともに支えあい、いきいきと
暮らせるまち
- ・創造的で豊かな心を
はぐくむまち

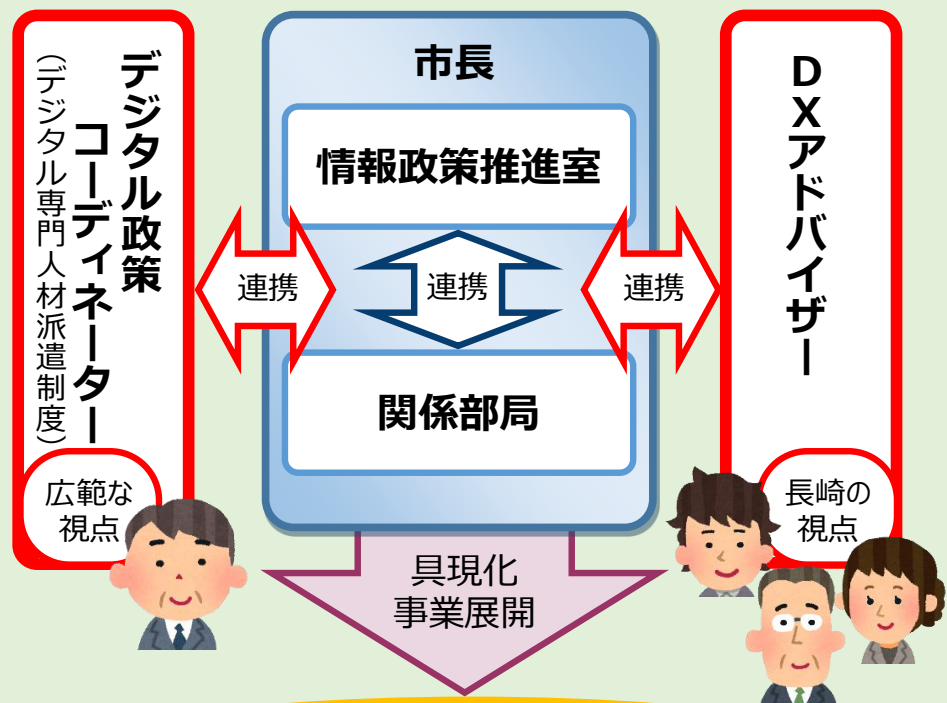
1. デジタル化の推進 (Society5.0の実現)

デジタル化推進費

1,925万8千円

社会全体のデジタル化に対応するため、地域の実情を踏まえ、時代の流れに遅れることなく長崎市全体のデジタル化を推進します

長崎市DX推進体制



DX推進計画の策定・実行

都市

スマート工場



※イメージ

スマート農業



スマート観光



MaaS
(交通のIT化)



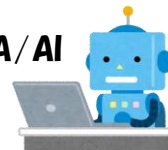
オンライン
保健指導



テレワーク



RPA/AI



電子申請



スマート長崎市の進展

市役所 18

2. 脱炭素社会の実現 (2050年「CO₂排出量実質ゼロ」(=カーボンニュートラル)の実現)

2021年 ゼロカーボンシティ 宣言へ

取組みの
加速!



2018年
市域CO₂排出量
220万7千トン
(速報値)

年
6万4千トン
削減!

2030年
市域CO₂排出量

▲43%
(2007年度比)

あと76万8千トン
削減!
(2018→2030年)

年
4万7千トン
削減!

2050年
市域CO₂排出量
実質ゼロへ
あと170万2千トン
削減!
(2018→2050年)



これまでの年平均削減量 (2007→2018年)
市域 年 2万9千トンCO₂ (削減率1.1%)
市役所 年 1,300トンCO₂

2007年
市域CO₂排出量
252万4千トン

- 主な取組み
- ・「ながさきエコライフ」
(エコライフフェスタ、ウィーク)
 - ・三京メガソーラー太陽光発電
 - ・サステナプラザながさき
 - ・(株)ながさきサステナエナジー

2050年カーボンニュートラル
に向けた取組み方針

- ①再生可能エネルギーの導入推進、まちづくりの脱炭素化
- ②日常生活、事業活動の脱炭素化

2. 脱炭素社会の実現 (2050年「CO₂排出量実質ゼロ」(=カーボンニュートラル)の実現)

令和3年度の主な取組み

1. 再生可能エネルギーの導入推進、まちづくりの脱炭素化

- ・エネルギー版産学官民連携スタートアップ事業 : 56万1千円
- ・電気自動車急速充電器整備・蓄電池化事業 : 1,212万8千円

【CO₂削減量】
(今回増加見込分)

- ・次世代自動車購入事業 : 1,590万円
(令和3年度買い換えの公用車 全車6台を電気自動車へ)

⇒ 年約 6トン

- ・新市庁舎建設事業 : 97億2,050万円

- ・道路灯・公園灯のLED化事業
(令和3年度 道路灯996灯:1億8,360万円
公園灯580灯:1億7,250万円)

⇒ 年約 550トン

- ・メガソーラー運営 : 3,771万5千円

- ・ながさきサステナエナジーによる再生可能エネルギーの地産地消

⇒ 年約 6,100トン

2. 日常生活、事業活動の脱炭素化

- ・地球温暖化対策実行計画の広域策定 (長崎市・長与町・時津町による連携)
- ・地球温暖化対策市民運動の推進 : 1,466万6千円
(サステナプラザながさきによる市民環境行動拡大)

3. 長崎開港450周年

まちの発展を支えてきてくれた
長崎港への感謝を込めて



長崎開港**450**周年

ときめくみなと、つながる **みんな**と

THE ENCHANTING PORT OF NAGASAKI: A GLOBAL INTERSECTION

3. 長崎開港450周年

長崎開港450周年記念事業費

6,500万円

長崎開港450周年を契機に長崎のまちが港とそこから広がる海洋とともに発展していくことを、記念事業を通して、県民、市民が認識し、行動を起こす契機となることを目指します



ときめくみなと、つながるみんなと



3. 長崎開港450周年

長崎開港450周年記念事業（主な関連事業）

関連施策

（官公庁等が実施するイベントなど）

- 特別企画展「長崎開港450周年記念展
～ふたつの開港～」
【長崎歴史文化博物館】
- 出島企画展「ポルトガル展」
【出島復元整備室】
- 長崎開港450周年記念ポルトガル講演会
【国際課】

連携事業

（実行委員会等が主催するイベントなど）

- 長崎帆船まつり
【長崎帆船まつり実行委員会】
- ながさきみなとまつり
【長崎開港記念会、
ながさきみなとまつり実行委員会】
- 開港5都市景観まちづくり会議2021
長崎開港450周年記念大会（仮）の開催
【同大会実行委員会】

ときめくみなと、つながるみんなと



長崎開港450周年
SINCE 1571

4. 平和の発信と世界への貢献

被爆100周年に向けた 新たなスタート



4. 平和の発信と世界への貢献

国際会議への出席（平和推進活動費） 983万9千円

核兵器禁止条約発効後、初めて開催される「第1回締約国会議」や、8月に延期となった「2020年核不拡散条約（NPT）再検討会議」において、被爆地長崎の平和への思いを世界に強く訴えます



第1回核兵器禁止条約締約国会議出席（市長、議長ほか）

645万3千円

核不拡散条約（NPT）再検討会議出席（市長ほか）

338万6千円



4. 平和の発信と世界への貢献

平和の文化の醸成

1,339万7千円

平和行政の新たな柱として、より多くの人々が気軽に平和について考えられるよう、日常の中に「平和の文化」を根付かせていく「**平和の文化の醸成**」に取り組めます

	事業名	事業費
新規	平和の新しい伝え方応援事業費	109万7千円
	「長崎クスノキプロジェクト」推進費	1,000万円
新規	平和コンサートとの連携(平和推進活動費)	100万円
新規	平和フォーラムの開催(平和推進活動費)	130万円